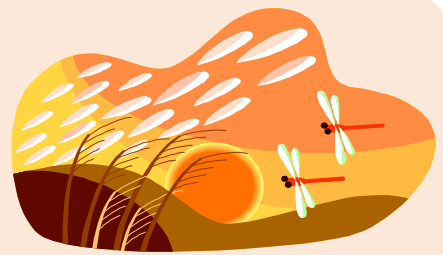


循環器・呼吸器病センターだより 第45号

仲秋の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。今年の4月以来、新システムの導入や9月からの電子カルテシステムの導入等、慌ただしい日々を過ごして参りました。気がつけば平成22年度も後半となってしまいましたが、何事も一歩一歩着実に進めて参りたいと思っております。



今後とも、御指導、御鞭撻の程よろしく申し上げます。 【病院長 今井嘉門】

循環器・呼吸器病センターでは運営にあたり、以下の基本理念・基本方針を定めており、また、患者さんの権利を保証しています。私たち職員一人ひとりが“笑顔”をもって、患者さんの立場にたった“思いやり”を大切にできるようにこれらを意識し、日々努力しております。皆様方からご紹介いただく患者さんを含め、すべての患者さんに安心して適切な診断と治療を受けていただくのが、私たちの役目です。

《病院基本理念》

私たちは県民の健康を守り、心の支えとなる病院をめざします。
私たちは誠意と熱意をもって、患者さんに接します。

《基本方針》

私たちは、埼玉県立循環器・呼吸器病センターの理念を踏まえ、次の基本方針のもとに全職員が「患者第一」を信条として、患者さん中心の医療を提供していきます。

- 1 患者さん中心の医療**
患者さんの権利と意思を尊重し、インフォームド・コンセント（説明と同意）に基づいた医療を実現します。
- 2 高度・先進的な医療**
循環器系疾患及び呼吸器系疾患に関する専門病院として、高度先進医療を提供します。
- 3 医療安全の確保**
医療安全管理体制を確立し、安全性を優先した医療を行います。
- 4 個人情報保護**
診療情報などに関する個人情報を適切に管理し、プライバシー保護に努めます。
- 5 地域医療との連携**
地域の医療機関との連携を強化し、地域医療の充実を図ります。
- 6 自己研鑽と質の向上**
職員一人ひとりが自己研鑽し、医療水準の向上に努めます。

《患者さんの権利》

- 1 最善の医療を等しく受ける権利**
患者さんには、社会的地位、信条に関わらず、平等で良質な医療を受ける権利があります。
- 2 自身の情報を知る権利**
患者さんには、自分が受ける医療に関して、分かりやすい説明を受ける権利があります。
- 3 自ら決定する権利**
患者さんには、自分の意思で治療方針や支援計画を選択し、決定する権利があります。
- 4 プライバシーが守られる権利**
患者さんには、プライバシーを守られる権利があります。
- 5 個人の尊厳が守られる権利**
患者さんには、個人としての人格を尊重される権利があります。
- 6 セカンドオピニオンを得る権利**
患者さんには、自分の病気の診断や治療法について、別の医療機関の意見を求める権利があります。

「気管支喘息の新しい治療法と当院での試み」

～平成22年度医師会との病診連携会における発表内容から～

昨年日本のガイドラインが改定されました。そのなかでまだ発売となっていなかった新規薬剤（パルミコート吸入液、アズマネックス、ゾレア、シンビコート）も記載された点が特記できますが、それらは現在発売され実際に使用されています。

シンビコートは粒子径が小さいこと、 $\beta 2$ のほぼフルアゴニストであることから今後10年間は喘息治療の主流であり続けられると思われれます。喘息の初めての抗体療法であるゾレアも当院で使用を開始しており、良好な結果を得ています。

シンビコートについては2008年に我々がRespiologyへ掲載した論文が、日本から唯一のプロモーションデータとして紹介されています。また、アズマネックスとアドエアの併用療法について、喘息の専門医の間ではよく知られた治療法ですがエビデンスとなる論文はなく、当院で前向き試験が現在終了し、論文化の途中まで来ています。また、ゾレアの我々の使用経験は近いうちにメジカルトルビュンに掲載予定であり、これらいずれの新しい喘息治療薬についても、当院から情報発信を行っています。【呼吸器内科 倉島一喜】

喘息予防・管理ガイドライン2009の主な改定点

- ? 長期管理
 - ・重症度ステップから治療ステップに変更
 - ・患者さんのコントロール状態にあわせて治療ステップを考慮
- ? 重症度
 - ・ステップという表現から頻度と病態をあらわすものに変更
 - ・コントロール状態の評価では喘息症状「なし」のみをコントロール良好と定義
- ? EBMの表記
 - ・エビデンスレベルを明記
- ? 各論的内容
 - ・抗アレルギー薬をLTRAとそれ以外に分割
 - ・新規薬剤の記載
(パルミコート吸入液、アズマネックス、ゾレア、シンビコート)
 - ・高齢者喘息の項目を充実
 - ・難治性喘息についても治療ステップによる対応を明記
 - ・アスリートにおける喘息管理の項を設定

※発表スライドから

今年で13回目となりました ～肺病理講習会を開催～

去る7月24日、熊谷市内のホテルで肺病理講習会を開催しました。今回は呼吸器系の先天異常と（先天性）遺伝子異常に伴う呼吸器疾患をテーマとしました。講師の先生方は病理：関東中央病院の岡輝明先生，日本医科大学の川本雅司先生と当センターの河端美則医師，放射線：天理よろづ相談所病院の野間恵之先生，埼玉医科大学の酒井文和先生と当センターの叶内哲医師，臨床：国立成育医療センターの川崎一輝先生にお願いしました。

今回初めて、稀な疾患である肺の先天異常と遺伝子異常を取り上げ、稀な疾患であるだけに果たして定員に達するか心配でしたが、幸い200名以上の申し込みがあり、当日192名の参加が得られました。7割以上が呼吸器内科，残りは病理医と放射線科医。今回は沖縄から4名，九州の各県から17名，合計21名の参加があったのは特筆すべき初めての成果です。講師と当センターの医師を含め、合計212名の方に参加いただき、丸1日の長丁場でしたが、講義と症例検討で充実した講習会を実施することができました。アンケートも95名から寄せられ、出席された各先生からも高い評価を得ました。今回も検査部と病理診断科がタイアップし、事務局の助力を得ての実施となり、当日協力いただいた職員の方に感謝いたします。次回のテーマは肉芽腫性肺疾患を予定していますので、よろしく願います。



【病理診断科】

～ 外来化学療法室を開設しました ～

当センターでは、2010年5月に外来化学療法室を開設し、外来通院される患者さんに抗がん剤投与を行っています。外来で治療を受けていただくことで、患者さんが日常生活を送りながら治療が継続できるというQOLの向上が図れ、入院治療に比べて経済的な負担が軽減されるといったメリットがあります。

外来化学療法室に準備されているベッドは4床で、そのうち1床がリクライニングチェアになっており、患者さんのご希望で選択していただけます。患者さんにはリラックスして点滴治療を受けていただけるよう、適宜環境を調整しています。

注射薬の調剤は、薬剤部のクリーンベンチ内で無菌的に行われています。点滴中は専任看護師が外来化学療法室内に常駐しており、安心して治療を受けていただけます。

また、抗がん剤治療後に帰宅される患者さんや、サポートされるご家族が安全にそして、より安心して日常生活が送れるように、点滴治療の時間を利用して日常生活での留意点をご説明いたします。患者参加型の看護計画書を使用したり、主治医の診察に同席させていただいたりして、患者さんやご家族と同じ目線で治療が継続できる看護を提供していきたいと思っています。

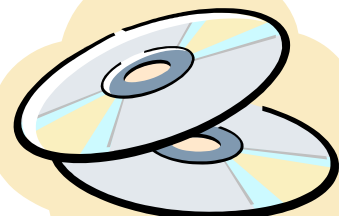
【看護部】



～ フィルムレスへのご協力をお願いします ～

当センターでは、平成22年4月1日からの新システム導入に伴いPACSの運用を開始し、また、7月1日からフィルムレス運用も始めました。

これにより、当センターからの紹介に伴う放射線画像データは、CD-Rにてお渡しすることとなります。また、当センターへ画像検査依頼された画像データも全てCD-Rにてお渡しすることとなりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



●お問い合わせ先：放射線技術部（内線2130）

～地域公開研修「スキンケア」の受講者を募集します～

当センターでは看護部主催の地域公開研修を、昨年度に引き続き実施します。

今年度は当センターの認定看護師を講師に、「スキンケア」をテーマとした全7回のコースを設定しました。既に講座はスタートしていますが、途中回から(のみ)の受講も受け付けていますので、ご都合に合わせてご参加ください。

※1 全コースの2/3以上出席された方には受講修了証が発行されます。

※2 会場の都合により、定員になり次第、申込を締め切らせていただきます。

①研修内容

回数	開催日	内 容
1	10月 1日(金)	皮膚の解剖整理(皮膚の解剖整理、基本的スキンケア)
2	10月 15日(金)	創傷治癒過程(再生と修復、創傷治癒過程)
3	11月 5日(金)	褥瘡の予防(発生、予防対策、体圧分散寝具)
4	11月 26日(金)	褥瘡ケア(創の洗浄、皮膚保護材、治療薬剤)
5	12月 3日(金)	失禁時のスキンケア【尿失禁】 (尿失禁、排尿障害、おむつの選択)
6	平成23年 1月 7日(金)	失禁時のスキンケア【便失禁】 (下痢、便秘、皮膚の保護)
7	1月 21日(金)	瘻孔ケア(瘻孔とは、ストーマ、胃瘻)

②場所 循環器・呼吸器病センター 講堂(本館5階)

③時間 各回とも18:00~19:30

④講師 循環器・呼吸器病センター看護師 川上 幸子(皮膚・排泄ケア認定看護師)

●お問い合わせ先:看護部 守谷(内線2608)

外 来 診 療 担 当 医 ス ケ ジ ュ ー ル

平成22年10月1日現在

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器科	石川 哲也 宮永 哲 村上 彰通	石川 哲也 村上 彰通	宮本 敬史 宮永 哲 鈴木 輝彦 堤 穰志 角田 聖子	宮本 敬史 宮永 哲 鈴木 輝彦 石丸 安明 津田 昌宏 ベースメーカー	今井 嘉門 武藤 誠	今井 嘉門 武藤 誠 鈴木健一朗	遠藤 彰 宮永 哲 仲野 陽介	遠藤 彰 柴山 健理 仲野 陽介	今井 嘉門 吉田 裕志 中田耕太郎	吉田 裕志 柴山 健理 中田耕太郎
循環器小児科					小川/菱谷 ※1	小川/菱谷		ベースメーカー		
心臓血管外科			蜂谷 貴 田口 真吾	蜂谷 貴			小野口勝久		花井 信 山崎 真敬 ※2	
脳神経外科	城下 博夫 猿田 一彦	猿田 一彦 幸田俊一郎			城下 博夫 高室 暁		当番制	当番制	城下 博夫 高室 暁	城下 博夫 坪川 民治
呼吸器科 内 科	杉田 裕 徳永 大道 宮原 庸介 石黒 卓		杉田 裕 柳澤 勉 倉島 一喜 鍵山 奈保		高柳 昇 柳澤 勉 徳永 大道 宮原 庸介		高柳 昇 石黒 卓 太田 池恵 多田 麻美		倉島 一喜 鍵山 奈保 米田紘一郎 小田島丘人	
呼吸器外科	星 永進		高橋 伸政		村井 克己		池谷 朋彦		川井 廉之	
消化器外科	長谷川 忠				長谷川 忠				岡田 寿之	
放射線科	叶内 哲 松本 寛子	叶内 哲 松本 寛子			松本 寛子	松本 寛子				
リハビリテーション科	洲川 明久				洲川 明久				洲川 明久	

※1 循環器小児科は第1・3・5水曜日は菱谷医師、第2・4水曜日は小川医師が診察します。

※2 心臓血管外科の金曜日の山崎医師は、第1金曜日のみ診察します。

●重症で緊急な処置を必要とする場合は、診療時間外でも対応します。

●受診にあたってのお願い

・当センターは紹介制です。初診時に紹介状が無い場合、別途2,620円かかります。

・初診の方は、原則として午前の診察となります。

※受付時間は午前8時30分から午前11時までです。

※脳神経外科及び放射線科は、午後診察のある日のみ午後でも受け付けます。

・当センターは予約制です。事前に電話予約するよう患者さんへお伝えください。

※事前に予約のない方は、予約患者さんの診察終了後の受診となります。

また、お越しいただいた日に診察できない場合もあります。

■当直については、循環器科・心臓血管外科・脳神経外科・呼吸器科の各医師の当直体制となっています。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

〒360-0105 熊谷市板井1696

TEL 048(536)9900(代)

外来専用FAX:048(536)9916 FAX:048(536)9920

ホームページアドレス

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/q03/>